

就職支援活動

Career Development

1. 学生支援総合センターでの取り組み

様々な面から学生生活を支援する学生支援総合センターには、就職活動支援部門があります。就職活動支援部門には就職・キャリア形成推進室も設置され、学生が現在から未来へとキャリア形成できるように、以下のような支援事業を企画・実施しています。

- 学生への就職情報の提供、各種就職に関わる相談
- 企業や公務員の就職を希望する
学生のための就職ガイダンスの開催
- 学生と企業間における問題の解決支援
- 企業からの情報収集と企業への大学PR
- ジョブフェア(大学主催による企業説明会)の開催
- 1年次から始まるキャリア形成の授業やインターンシップの開設



就職ガイダンス



教育文化学部就職情報室

2. 各学部の就職支援体制

教育文化学部

就職情報室を設置し、学生が活用できるよう、就職に関するデータを収集整理しています。また、試験対策、エントリーシートや志望動機の書き方、面接を受ける際の注意点等について学部の就職委員や就職情報室のスタッフが常時相談できる体制を取っています。

工学資源学部

各学科に就職指導担当教授を置き、学生の就職指導に当たっています。また、就職活動アドバイザー室を設置し、学生が経験豊富なアドバイザーに就職に関する一切の事柄に関して相談できる体制を取っています。

医学部

医学科

平成16年から臨床研修必修化制度が始まり、医師免許取得後2年間は、プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得を目指して、各科のスーパーローテーション研修が義務付けられました。本学科では必修化が始まる2年前から附属病院内に卒後臨床研修センターを設置して具体的な準備を進めてきました。同センターでは、研修プログラムの作成やマッチングに関わる事務手続きの一切を行っています。また、研修に関する説明会は年数回行います。

保健学科

看護学専攻では、4年次のチュートリアル担当教員が学生個々の進路の相談・支援にあたっています。また、就職・進学支援担当教員を3名配置し、就職施設の選択や病院見学会、採用試験情報の提供など、学生の進路決定を支援する体制を取っています。

また、理学療法学専攻、作業療法学専攻では、4年次の担任を中心として就職・進学に関する相談を受ける体制を整えています。